

拡大する中国のNEV市場 ～販売台数で世界の先端を走る～

楽読(ラクヨミ)

nikko am
fund academy

中国の自動車市場は、17年に新車販売台数が9年連続で世界首位となり、今や世界市場の約30%を占めています。現在販売される自動車の多くはエンジン車ですが、中国政府はEV(電気自動車)やPHEV(プラグインハイブリッドカー)などの新エネルギー車(NEV)市場の育成に力を入れています。そうしたことから、中国のNEVの販売台数は17年に約78万台に達し、世界のNEV販売台数の約半分を占めるに至っています。

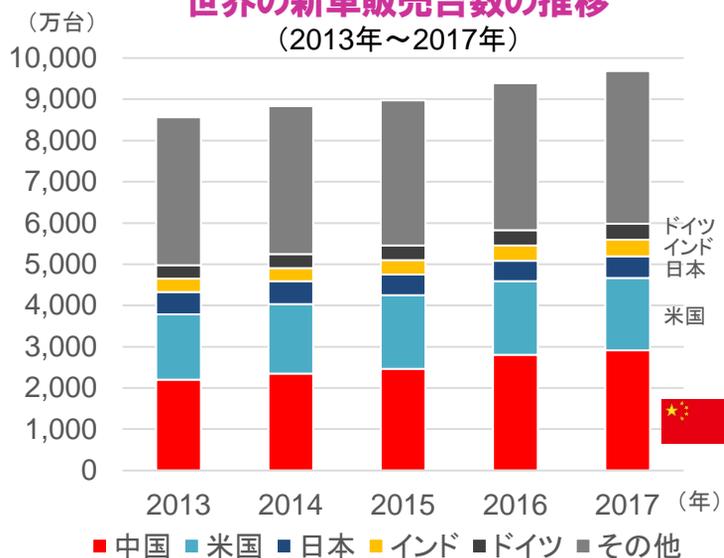
中国がNEVに注力する背景には、大気汚染などの環境対策に加え、政府の産業振興策が挙げられます。中国政府は、17年に「自動車産業中期発展計画」を発表し、25年に自動車強国となるために、NEVで世界トップ10に入る企業を育成する目標を掲げました。中国は新車販売台数では既に世界首位であるものの、国内自動車・部品メーカーの育成が遅れており、エンジン車では日米欧の自動車メーカーに技術・ブランド面で後塵を拝しています。そうした状況を変えるため、NEVの開発を世界に先行して進めることで、次世代自動車産業の勝ち組になろうとしています。

また、中国政府は、国産NEV普及のため、中国メーカーの電池を搭載することを条件にした、中国メーカーへの実質的な助成金に加え、NEV購入者に対する100万円程度の補助金支給や、北京・上海・深センなど大都市でナンバープレートの取得優遇(エンジン車に対して発行するナンバープレートは抽選)などの政策を実施しました。そのため、BYDや北京汽車など中国メーカーが大きなシェアを獲得しています。

来年以降、中国では、自動車メーカーが生産・販売台数の10%以上をNEVとする規制が導入され、政府は20年のNEV市場を200万台と想定しています。NEV購入者への補助金は20年にかけて段階的に撤廃されると見込まれるものの、今後は、日米欧の自動車メーカーのNEVも加わることで競争が促され、中国のNEV市場はさらに拡大すると考えられます。

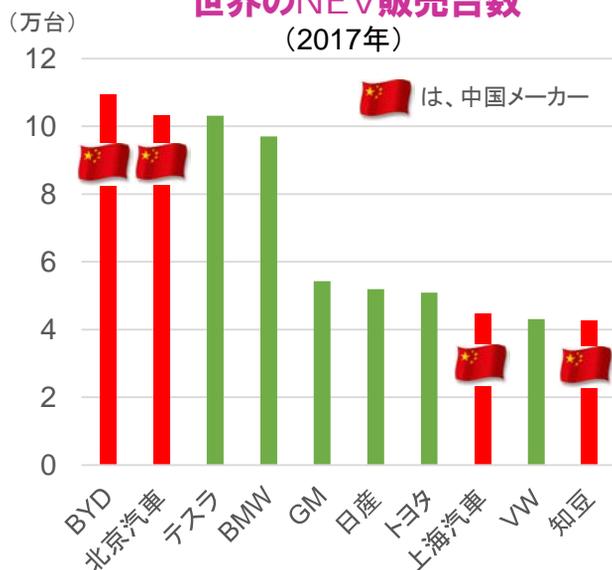
世界の自動車販売台数の推移

(2013年～2017年)



世界のNEV販売台数

(2017年)



※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

(OICA「左グラフ」およびEV Sales「右グラフ」のデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。